

「BDHQ調査に関する研修会」実施要項

1 趣 旨：

健康支援事業（食生活支援）の一環としてBDHQ調査を実施するに当たり、調査実施者を対象に、実施方法や実施上の留意点などについて研修するもの。

2 開催日時：平成24年8月20日（月）午後4時30分から午後8時ごろまで

3 場 所：宮城県大崎合同庁舎「504会議室」

住 所：宮城県大崎市古川旭4丁目1番1号

アクセス：http://www.pref.miyagi.jp/map/pdf_os.pdf

4 参集範囲：NPO法人ハッピート大崎（10名程度）

石巻市、宮城県（石巻保健所、大崎保健所、健康推進課）

5 研修概要：（1）BDHQ調査の実施方法について

（2）その他（秩父市の健康講座の内容の紹介、ロコトレ、女性の健康相談の技術移転など）

6 講 師：（株）ジェンダー・ダイナミクスDHIQサポートセンター (<http://www.vividlady.com/index.html>)

宮原富士子氏（代表取締役社長／薬剤師）、高村美帆氏（管理栄養士）

【参考】BDHQ調査の実施案

（1）必要性

食生活支援事業の実施に当たっては、現在は、相談者に対してヒアリング調査を実施して食生活・栄養上の課題の把握に努めているが、栄養指導の実効性を確保するためには、食事別頻度・栄養摂取量を定量的に把握することが必要になっている。また、現在実施しているヒアリング調査によっては、栄養指導のアセスメントをすることは困難である。そのため、栄養指導の効果を定量的に測定して、栄養指導の内容・方法を改善していく必要がある。

（2）内 容「簡易式自記式食事歴法質問票」

① 対 象 者：石巻市の仮設住宅居住者 100名程度

② 調査主体：NPO法人ハッピート大崎（県の補助金により石巻市の仮設住宅で栄養相談会を実施している団体）の支援団地（食生活支援事業の参加者）。

③ 実施方法：従来のアンケート調査に代えて、簡易式自記式食事歴法質問票（BDHQ）を使用し、食行動・食習慣のほか、栄養リスクがないかを調査する。そして、調査結果（「食生活信号票」「食事バランス診断票」として出力）に基づき、個別に栄養相談を実施する。

④ 実施地区：ハッピート大崎としては、自身の栄養指導のアセスメントを希望しており、昨年度から指導を実施している団地（3カ所）と、今年度から開始した団地（3カ所）とする。

⑤ 時 期：平成24年8月～平成25年3月